
姫と王子の攻防戦

蒼木 白

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

姫と王子の攻防戦

【Zコード】

Z0096V

【作者名】

蒼木 白

【あらすじ】

小国の王女であるフランシスカは、大国のエルウェス殿下の下に嫁ぐことが決まる。しかし、婚約相手の皇子は……バカだった。苦労性のフランシスカと馬鹿なエルウェスのとくにどうでもいい日常の話。

プロローグ

「フランシスカ、お前の嫁ぎ先が決まった」

父に呼ばれた時、予想はしていた。

けれど、できれば当たつて欲しく無かつた。

「どうでしょ、うか？」

顔には緊張を出さないように心がけ、何時も通りに喋る。父はそんな私のことなど気にもせず、淡々と事実を述べた。

「アリエスティル帝国、第一皇子のエルウェス殿下だ」

アリエスティル帝国

大陸で最も領土が大きく、軍事力の高い魔術大国。資源が豊かに有り、魔術のレベルが平民からして高い。

その国の王族と言つたら、他国から見たら世界に君臨する霸者に最も近い位置にいる者たち。

そのため王族との婚姻は喉から手が出るほど欲しいのだ。

そう、例え

それがどんな奴でも……

エルウェス殿下

アリエスティ帝国第一皇子として生まれ、帝位継承権第二位を持つ皇子だ。しかも眉田秀麗で、武術にも秀でており、今では皇帝の下で国政を手伝っているらしい。

ここまでならいい。

これだけ見れば超優良物件だろう。

だけど……

「なぜバカが付くのですか？」

執務室から戻つて、自分の部屋で父から渡された資料を見て思わずそう呟いてしまった。

その意味を知ったのは、もつもつと先のこと。

プロローグ（後書き）

とても拙い文章ですがよろしくおねがいします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0096v/>

姫と王子の攻防戦

2011年10月9日11時50分発行